

(第3会場：2F第4研修室)

午後

■司会 坂木 和也 熊本県鹿本教育事務所 社会教育主事
久保田嘉子 福岡県宇美町 教育委員

1. 汗見川水源の涵養と地域活性化への挑戦

— 清流を活かした生涯学習まちづくりイベントの創造 —

川村 芳朗〈高知県〉 本山町汗見川活性化推進委員会地域づくり推進会 会長 13:30~13:55

山村の過疎はどの町も例外ではない。汗見川地域は高知県の水源であり、その清流と自然が資源である。活性化実行委員会では河畔林の整備の一環として、眺望を改善し、景観の美化に努め、地域による「岸つつじ」の植樹を行い、清流を活かした生涯学習まちづくりイベントに挑戦している。

2. 文化と自然を活かした活力あるコミュニティ創造への多面的アプローチ

— 唐津市かがみふるさとまつり —

牟田口光子〈佐賀県〉 かがみふるさとづくりの会 広報部長 13:55~14:20

「かがみふるさとづくり」事業は4つの柱で構成し、まちづくりへの多面的アプローチを試みている。小中高生を対象とした「百人一首大会」、「古代の森の梅まつり」、「かがみのお雛様展」、「山野草展」を組み合わせた事業。地域に眠る文化を掘り起こし、自らの地域を見直し、活力あるふるさとを創る。

～ティータイム～

14:20~14:55

3. くにみ山麓音楽祭と図書事業を核とした生涯学習運動

— 世知原地域文化の創造と発信 —

迎 悟〈長崎県〉 世知原町教育委員会 社会教育主事 14:55~15:20

世知原は全町公園化宣言のまちである。まちおこしの活動は1987年から続いた「ボタ山コンサート（ボタコン）」の歴史がある。この歴史は1997年くにみ山麓音楽祭に引き継がれた。併せて、世知原の生涯学習運動は図書室にアクセントを置いている。読書推進大会は既に12回を数える。町民一人あたりの貸し出し冊数も図書館を持たない自治体では長崎県内1位を誇っている。そして、目標は世知原地域文化の創造と発信である。

4. 子ども達が創る紅葉ロードレース

— 「学社融合」でまちづくり —

平田 正樹〈島根県〉 匹見町立匹見小学校 教諭 15:20~15:45

匹見は峡谷のまち、紅葉の名所である。まちを舞台に子どもたちが大会運営に参加する「紅葉ロードレース」は子どもが参加するまちづくり事業である。学校の視点からは学社融合のプログラムとなる。地域外の参加者が大会を支える子どもたちの姿に打たれ、子どもたちが作成した大会メダルをもらいたい、という思いでレースに参加している。

5. 総括討論

15:45~16:15